

数学科 第2学年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい(時数)	評価の観点 (重み%)	評価規準	主な 評価方法
4 5	○式の計算(18時間) ・式の計算 ・文字式の利用 【ねらい】 事象のなかに数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表し、活用することができるようにするとともに、文字を用いた式の四則の計算ができるようにする。	関心・意欲・態度 (25%)	・数の計算や1年での文字式の計算と関連づけ、式の加減や単項式の乗除の計算をしようとする。 ・数量の間の関係を、帰納や類推によって発見的にとらえ、それが成り立つわけを、文字を用いて説明しようとする。 ・変形する目的を具体的な事象と関連づけるなど、自ら課題を設定し、目的をもって式を変形しようとする。	授業観察 提出物 宿題
		見方・考え方 (25%)	・数量の関係を帰納や類推によって発見し、それが一般的に成り立つことを、文字式を用いて考察することができる。 ・目的に合うように式を変形することによって、数量の関係が見やすくなり、的確にとらえやすくなることを実感し、変形することのよさに気づく	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		技能 (25%)	・整式の加減、多項式と数の乗除、単項式の乗除の計算を、正確かつ能率的に行うことができる。 ・帰納や類推によって発見的にとらえた数量の関係を、文字を用いて簡潔にかつ一般的に説明することができる。 ・目的に応じて自由に式を変形したり、変形する目的や手順を、具体例に関連づけて説明したりすることができる。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
		知識・理解 (25%)	・整式の加減や単項式の乗除の計算を、既習の計算や面積図などと関連づけて理解している。 ・文字式を用いて数量の間の関係を一般的に表現したり説明したりすることの意義やよさを理解している。 ・式を変形することの意義や、そのよさについて理解している。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
6 7	○連立方程式(17時間) ・連立方程式 ・連立方程式の利用 【ねらい】 連立方程式について理解し、それを用いることができるようにする。	関心・意欲・態度 (25%)	・連立方程式に関心を持ち、連立方程式の解き方を考えようとする。 ・文字を2つ用いて方程式をつくることによって、問題解決の場面が広がったり、解決が容易になったりすることのよさに気づき、積極的に連立方程式を活用しようとする。	授業観察 提出物 宿題
見方・考え方 (25%)	・未知数として用いる文字の数と、それを求めるための方程式の数の関係に、作業などを通して気づき、問題の解決に生かすことができる。 ・文字を2つ用いることができる事象で、連立方程式で表した場合と1元1次方程式で表した場合とで、式や解法、答などについて、相互の関係を考察することができる。	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査		
技能 (25%)	・2つの方程式を連立することの意味を説明することができる。 ・連立方程式を正確かつ能率的に解くことができ、その手順を的確に説明することができる。 ・いろいろな問題に応じて、1元1次方程式や連立方程式を的確に用いることができ、一般的	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査		

			な立式の方法や解法の過程を説明することができる。	
		知識・理解 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式の意味やその解を、1元1次方程式と関連づけて理解している。 ・分数係数をもつ連立方程式など、いろいろな連立方程式を工夫して解く方法を理解している。 ・問題場面に応じて、1元1次方程式や連立方程式を用い、的確に解決する方法を理解している。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査
9	<p>○1次関数(19時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次関数 ・1次関数と方程式 ・1次関数の利用 <p>【ねらい】 具体的な事象のなかから2つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、1次関数について理解することができるようにするとともに、関数関係を見だし、表現し考察することができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25)%</p> <p>見方・考え方 (25)%</p> <p>技 能 (25)%</p> <p>知識・理解 (25)%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1次関数の特徴を、比例や反比例と関連づけて調べようとする ・1次関数を用いて表すことのできる事象の特徴を、関数的な見方や考え方を利用して調べ、考察しようとする。 ・2元1次方程式と1次関数を関連づけてとらえることを通して、関数的な見方や考え方のよさを知り、それを問題解決に活用しようとする。 ・1次関数の特徴について、比例や反比例と関連づけてとらえ、考察することができる。 ・具体的な事象を1次関数にとらえ、表、式、グラフなどと具体的な事象とを関連づけ、その特徴を考察することができる。 ・2元1次方程式と1次関数を関連づけてとらえて、連立方程式の解の意味や存在など、事象を広く考察することができる。 ・1次関数の関係を表、式、グラフなどを用いて適切に表現したり、その特徴を関連づけてよみとったりすることができる。 ・具体的な事象を、1次関数を用いて的確に処理し、その特徴から事象についていえることを説明することができる。 ・2元1次方程式を1次関数として適切に表現することができる。連立方程式の解の意味などを説明することができる。 ・1次関数について、比例や反比例と関連づけたり、1つの関数としてとらえたりして、その意味を理解している。 ・具体的な事象について、1次関数の表、式、グラフなどの特徴をもとに、考察したり、予測したりする方法を理解している。 ・2元1次方程式と1次関数を関連づけてとらえることで、統合的にみることができるよさを理解している。 	<p>授業観察 提出物 宿題</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p> <p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
10 11	<p>○図形の性質と合同(18時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行線と角 ・三角形の合同 ・証明 <p>【ねらい】</p>	関心・意欲・態度 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角や外角の大きさについて、いろいろな方法で確かめようとしたり、発展的に考えようとしたりする。 ・平行線や角の性質、三角形の合同条件などを用いて、角の大きさを求めたり図形の性質について考察したりしようとする。 ・演繹的な推論の必要性に関心をもち、図形の性質を証明しようとする。 	授業観察 提出物 宿題

	<p>観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形の性質を見だし、平行線の性質や三角形の合同条件をもとにして、それらを確かめることができるようにする。</p>	<p>見方・考え方 (25%)</p> <p>・多角形の内角や外角の大きさを、いろいろな方法で確かめたり、発展的に考えたりすることができる。 ・平行線や角の性質、三角形の合同条件や、それらを用いて見いだした図形の性質について、その一般性を考察することができる。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
		<p>技能 (25%)</p> <p>・多角形の内角や外角の大きさを工夫して求めたり、求め方の根拠を分かりやすく説明したりすることができる。 ・平行線や角の性質、三角形の合同条件を適切に用い、図形の性質が成り立つわけを的確に表現することができる。 ・図形の性質が正しいことについて、ことばや式を用いて的確に表現することができる。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
		<p>知識・理解 (25%)</p> <p>・平行線や角の性質などを一般的に説明するには、演繹的な方法による必要があることを理解している。 ・既知の性質を根拠として新しい性質を導くという推論の過程や方法について理解している。 ・平行線や角の性質、多角形の内角、外角の和について、それらを体系立てて理解している。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
12	<p>○三角形と四角形(21時間)</p> <p>・三角形 ・四角形</p> <p>【ねらい】 平面図形の性質を三角形の合同条件などをもとにして確かめ、論理的に考察することができるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p> <p>・三角形や平行四辺形の性質について進んで考察し、見いだした性質を自ら確かめようとする。</p>	<p>授業観察 提出物 宿題</p>
1		<p>見方・考え方 (25%)</p> <p>・既習の図形の性質を根拠にしなが、三角形や四角形の性質を見だし、それを証明することができる。 ・平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の関係を考察することができる。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
		<p>技能 (25%)</p> <p>・二等辺三角形や平行四辺形の性質や条件を、既習の図形の性質や三角形の合同条件などを適切に用いて、的確に分かりやすく、そのわけを説明することができる。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
		<p>知識・理解 (25%)</p> <p>・直角三角形の合同条件を、三角形の合同条件と対比して理解している。 ・平行四辺形の性質や、平行四辺形になるための条件を理解している。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
2	<p>○確率(12時間)</p> <p>・確率</p> <p>【ねらい】 具体的な事象についての観察や実験を通して、確率について理解できるようにする。</p>	<p>関心・意欲・態度 (25%)</p> <p>・起こりうる場合の数を、落ちや重複がないように、見通しをもって、能率的に調べようとする。 ・確率の考えが使われている場面を見いだしたり、確率の考えを用いて、日常の場面を考察したりしようとする。</p>	<p>授業観察 提出物 宿題</p>
3		<p>見方・考え方 (25%)</p> <p>・起こりうる場合の数を、正確かつ能率的に数え上げる方法を見だし、考察することができる。 ・確率を求める合理的な実験方法を考えることができる。 ・求めた確率について、その値の意味などを、具体例にもとって考察することができる。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査</p>
		<p>技能 (25%)</p> <p>・起こりうる場合の数の求め方を、見通しをもち、場面に応じて方法を判断するなど、能率的に行うことができる。</p>	<p>小テスト 単元テスト 計算テスト</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・観察、実験やデータの処理を的確に行ったり、「同様に確からしい」ことを適切に用いたりして、確率を正確に求めることができ、その求め方を説明することができる。 	定期考査
	知識・理解 (25)%	<ul style="list-style-type: none"> ・樹形図や表などを場面に応じて利用するなど、場合の数を求める方法の効果的な利用のしかたを理解している。 ・統計的確率と数学的確率があることを知り、それらの意味を具体例を通して理解している。 	小テスト 単元テスト 計算テスト 定期考査